

東北支社 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和2年1月29日(水) 東北支社4階会議室	
委員	齊藤 幸治(弁護士) 久田 真(東北大学大学院教授) 古川 直磨(公認会計士・税理士) 運上 茂樹(東北大学大学院教授) 富田 真(東北学院大学教授) ※欠席 小林 正明(東北経済連合会 専務理事) ※欠席	
審議対象期間	平成30年4月1日～令和元年9月30日	
抽出案件	総件数【6件】	備考
○工事	【4件】	
・一般競争	1件	東北自動車道 宮城白石川橋床版取替工事
・条件付一般競争	1件	磐越自動車道 会津若松管内橋梁補修工事
・拡大型指名競争	1件	常磐自動車道 いわき中央 IC～浪江 IC 間道路交通情報設備工事
・随意契約	1件	東北自動車道 竜ヶ森トンネル内装工事
○調査等	【1件】	秋田自動車道 湯田～黒沢間道路詳細測量
○物品等	【1件】	ハイウェイフェスタとうほく2019設営業務
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p><u>【入札監視統一事務局における審査実施状況報告】</u></p> <p>・意見なし</p> <p><u>【工事入札契約状況報告】</u></p> <p>① 道路付属物で入札不調が多く発生したとのことですが、入札不調後はどのような対応をされるのでしょうか。</p> <p><u>【競争参加資格停止等運用状況一覧表報告】</u></p> <p>① 競争参加資格停止の期間で0.5ヶ月というものがありますが、0.5ヶ月が競争参加資格停止期間の最短の期間でしょうか。</p> <p><u>【資格取消等状況一覧表報告】</u></p> <p>・該当なし</p> <p><u>【一次苦情及び一次説明処理状況表報告】</u></p> <p>・該当なし</p> <p><u>【談合情報について】</u></p> <p>・該当なし</p> <p><u>【抽出事案の審議】</u></p> <p><u>「東北自動車道 宮城白石川橋床版取替工事」</u></p> <p>① 今まで、継続契約方式という方式は選択肢としてなかったのでしょうか。</p>	<p>① 工事内容を見直して再入札手続きを行います。明らかにその後も入札不調が見込まれる場合は、近接する同種工事やグループ会社との協定業務に入れて対応する場合があります。</p> <p>① 0.5ヶ月（2週間）が競争参加資格停止の最短の期間ですが、それ以外に文書警告という措置もご置きます。</p> <p>① 東北支社において、継続契約方式の採用は本工事が初めてとなります。</p>

意見・質問	回 答
<p>② 東北支社では継続契約方式を採用した初めての工事発注とのことですが、契約継続方式を採用した工事発注は今後も増えていくのでしょうか。</p> <p>③ 継続契約方式を採用することで、工事価格は現状より安価になることは想定されますか。</p> <p>④ 継続契約方式の採用にあたり、発注者側にとって注意しなければならない点がありますか。</p>	<p>② 同じような工事を繰り返し発注する継続契約方式は、発注者・受注者側の双方で手続き等の効率化や短期化が図られます。このため、橋梁補修工事以外の工種についても同様の効果が見込める場合は、継続契約方式を拡大していきたいと考えています。</p> <p>③ 架設材や機材の転用が可能となるため、今より工事価格が抑えられ、結果安価になると想定しています。</p> <p>④ 1橋目の工事を終えて2、3橋目の工事を行う際に、新たな工法が開発されたような場合においても1橋目の技術提案に関わる工法を踏襲しなければならない点等があります。今回、東北支社としては初めて行う方式なので今後、評価・分析を進めてまいります。</p>
<p><u>「磐越自動車道 会津若松管内橋梁補修工事」</u></p> <p>① 橋梁遊間の補修工事は、どこでもできる工法と考えてよろしいのでしょうか。</p>	<p>① 伸縮装置の隙間の遊間にウォータージェットのノズルヘッドを差し込んで水平部分にある損傷箇所のはつりを行う工法で、最近一般的に行われるようになってきています。</p>
<p><u>「常磐自動車道 いわき中央 IC～浪江 IC 間道路交通情報設備工事」</u></p> <p>① 価格交渉を行うタイミングはいつですか。</p> <p>② 112者の指名業者がいる中で、拡大指名競争入札方式を適用した理由を教えてください。</p> <p>③ 辞退者が多かった理由を教えてください。</p>	<p>① 入札参加者による見積書の提出後から契約制限価格書作成までの間の約1ヶ月の間に行います。</p> <p>② 他工事を施工中の場合、工事实績がコリンズに登録されないため、公告のタイミングで実績を有している指名者以外の者から応募があれば、受注機会が増えるものと考え拡大指名競争入札方式を適用しました。</p> <p>③ 辞退した者からヒヤリングを行っていないため確たる理由は不明ですが、工事区間の中に放射線量の高い区間が含まれているため、作業員の確保が困難であったと想定されます。</p>

意見・質問	回 答
<p><u>「東北自動車道 竜ヶ森トンネル内装工事」</u></p> <p>① 契約制限価格の見直しは、どのような部分の見直しをされたのでしょうか。</p> <p>② 本工事の契約に不落随意契約を適用した理由は、不落随意契約の原則廃止条項の①～④のどれに該当しますか。</p> <p>③ 契約制限価格の見直しが必要になったということは、当初の契約制限価格が低過ぎたのでは。</p>	<p>① 直接工事費の他に諸経費である共通仮設費、現場管理費の見直しを行いました。</p> <p>② ③の事業執行上の制約等により時間的余裕がない場合に該当します。</p> <p>③ 当初の積算については、支社の積算基準を用いて算定しました。しかし、施工場所が盛岡市内から40キロ以上離れた山間部であり、現場事務所や作業員の方の宿泊場所の確保に経費がかかり、高く見積られたのではと想定されます。</p>
<p><u>「秋田自動車道 湯田～黒沢間道路詳細測量」</u></p> <p>① 低入札となった原因を教えてください。</p>	<p>① 自社で測量機器やデータを整理するシステムを保有しているため、可能な限りのコストダウンを図ることが可能と聞いております。</p>
<p><u>「ハイウェイフェスタとうほく2019設営業務」</u></p> <p>① 昨年度は今年度とは別の者が受注されたのでしょうか。</p>	<p>① 別の者が受注しています。</p>

審議結果の報告	<p>審議案件全体について、入札の事務手続きについて特段の疑義はないものと認められます。</p> <p>なお、以下の点について、今後の入札手続きにおいて改善又は検討等願います。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 競争性の確保のため、辞退者が多かった案件について原因を分析し、今後の改善に役立てること。</li><li>2. 単独発注では応札者があまり期待できない案件については、他の関連案件と一体として発注するなどの工夫をすること。</li><li>3. 継続契約方式については、次回分に初回分を機械的に適用するのではなく、初回分の実施結果に基づき次回分の発注内容の検討を行うなどして、次回分に即した発注内容とすること。</li></ol>
---------	--